

環境報告(要約版)(フォーマット案) 記載要領

○ 表題等

記載事項	記載上の留意事項	備考
作成日	この環境報告(要約版)を作成した日付を記載してください。	P47
問合せ先	担当部署及び担当部署の責任者名を記載してください。	
会社URL又は住所	貴社のホームページのURLを記載してください。なお、URLがない場合には、住所をご記入ください。	

備考…環境報告ガイドライン 2012 年版における関連事項の開始ページです。適宜ご参照ください。(以下、同じ)

○ 共通する留意事項

1. 記述情報のほかに、関連する図や表を貼り付けることも可能です。ただし、環境報告書のページ全体をそのまま添付することはできません。なお、ファイル容量は5MB 未満としてください。
2. 記載された情報を、利用者が加工して分析等に利用することを想定しています。そのため、重要な情報について、コピー不可となる形式での保存は避けるようにしてください。
3. フォーマットに記載された項目名称を、修正しないようにしてください。
4. 環境報告(要約版)であるため、重要な情報をできるだけ簡潔に記載するよう努めてください。(目安は 15 頁程度です。全体として 20 頁を超えないように作成してください。)
5. 記載事項で記載する事項がない場合には、「－」を記載してください。
6. この環境報告(要約版)の詳細情報として、各記載項目に関する環境報告書(CSR 報告書等を含む)の該当ページを記載したい場合には、巻末の【補足情報】に「環境報告書の関連ページ一覧表」にて記載してください。(社会的取組の状況を除く)

○ フォーマットへの記載に関する事項

I 基本的事項

記載事項	記載上の留意事項	備考
対象組織の範囲	環境報告の対象とした組織の範囲(対象範囲)について、該当する口を■にしてください。なお、対象範囲が【単体及び主要な子会社】、【単体】の場合には、【主要な子会社名及び範囲の方針】を欄の下に注記してください。	P43
捕捉率	対象範囲が【単体及び主要な子会社】、【単体】の場合に、報告対象組織の事業全体(連結)に占める環境負荷等の割合(「捕捉率」)を記載してください。ただし、報告対象組織に係わる経営指標等(売上高など)で捕捉率を計算して開示することもできます。なお、【捕捉率の算定基準】を欄の下に注記してください。	
範囲の変更の有無	対象範囲の変更の有無について、該当する口を■にしてください。	

対象期間	対象期間について、記載してください。なお、財務期間との相違がある場合には、【財務期間との差異】の内容を欄の下に注記してください。	
期間の変更の有無	期間の変更の有無について、該当する口を■にしてください。	

II. 経営責任者の緒言や方針に関する事項

記載事項	記載上の留意事項	備考
経営責任者の緒言	経営責任者による環境取組や目標への考え方(コミットメント)について、その概要を記載してください。	P49
環境配慮の方針	環境配慮の取組を行うにあたって制定した環境配慮の方針について、その概要を記載してください。	P61

III. 重要な環境課題や戦略に関する事項

記載事項	記載上の留意事項	備考
重要な環境課題	個別の環境課題のうち、経営上、重要な課題に該当するものについて、該当する口を■にしてください。なお、【その他】がある場合には、その内容を欄の下に注記してください。	P62
背景情報 (1)収益獲得機会に関する背景情報 (2)ビジネスリスクに関する背景情報	重要な課題として特定した際に勘案した背景を、収益獲得機会とビジネスリスクに区分して記載してください。なお、重要な課題の特定の際には、以下の事項を総合的に勘案する必要があると考えられるため、勘案した内容が分かるように記載することが望まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 財務的影響(収益獲得機会とリスク)及びその想定期間 ✓ 法規制等による影響及び政策と方向性 ✓ 同業種における共有課題や同業他社の対応状況 ✓ ステークホルダーからの要請や社会的な関心 ✓ 自然災害・事故などによる物理的影響 	
ビジョン及び戦略	重要な環境課題を踏まえて策定されたビジョンや戦略について、その概要を記載してください。	

※重要な環境課題は、3～5件程度を想定しています。

※気候変動(温室効果ガス)に関しては、業種共通の重要な環境課題と考えられますので、原則として重要な環境課題として記載してください。

IV. 重要な環境課題に関する当年度の対応状況

記載事項	記載上の留意事項	備考
重要な環境課題	「III. 重要な環境課題」にて明記した課題から、該当する課題を記載してください。	—
当年度における計画及び取組	重要な環境課題への報告対象期間(当年度)における計画及び取組状況について、その概要を記載してください。	P54

状況	
環境負荷量(総量)	重要な環境課題に関連する環境負荷量(総量)について、以下を記載してください。
計画	当年度の計画値について、記載してください。なお、環境負荷量(総量)に関する指標(削減割合など)を記載することも可能です。
実績	当年度の計画に対応する実績値について、記載してください。
第三者審査	実績値について、第三者審査を受けている場合には、口を■にしてください。
中期目標	中期的な目標値について、記載してください。なお、中期目標について、その目標年度を欄の下に注記してください。
環境負荷量(原単位)	重要な環境課題に関連する環境負荷量(原単位)について、以下を記載してください。
計画	当年度の計画値について、記載してください。なお、環境負荷量(原単位)に関する指標(削減割合など)を記載することも可能です。
実績	当年度の計画に対応する実績値について、記載してください。
第三者審査	実績値について、第三者審査を受けている場合には、口を■にしてください。
中期目標	中期的な目標値について、記載してください。なお、中期目標について、その目標年度を欄の下に注記してください。
財務影響等	重要な環境課題に関連する財務影響について、具体的な財務数値(計画又は実績)や将来見込み(チャンスやリスク)等の説明を用いて、その概要を記載してください。
結果の分析・評価及び次年度における取組	当年度における結果の分析・評価の概要や次年度における主な取組の概要について、記載してください。

※重要な環境課題は、3～5件程度を想定しています。適宜、枠を追加して記載してください。

※環境負荷量は、主要なパフォーマンス指標(KPI)及びKPIと関連する環境負荷量を記載してください。なお、後述の【補足情報】においても、KPI及びKPIと関連する環境負荷量(総量)の直近3年分を「環境負荷量の時系列一覧」に記載するようにしてください。

※温室効果ガスに関する環境負荷量は、基本的に総量を記載するとともに、必要に応じて原単位情報も記載してください。

※環境負荷量の()内には、単位を記載してください。

※算定方法(算定式、係数等)、報告セグメント別の環境負荷量などは【補足情報】に記載してください。

V. 組織体制及びガバナンスの状況

記載事項	記載上の留意事項	備考
環境経営の組織体制等	環境経営の組織体制・ガバナンスについて、最高責任者、委員会等の役割、委員会の構成人員(外部・女性比率など)、役員報酬との関連、環境マネジメントシステムの構築など、その概要を記載してください。な	P64

	お、組織体制等の全体像や他の組織体制との関係を、【補足情報】にて図示してください。	
環境に関する規制等への遵守状況	環境に関する規制等の遵守状況について、違反の有無及びその対策などの概要を記載してください。	P68

※役員報酬との関連は、環境配慮の取組が役員報酬にどのように関連するか等について記載してください。

VI. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況

記載事項	記載上の留意事項	備考
グリーン調達 の取組状況	グリーン調達やCSR調達等について、重要な課題に関連する要求内容や実施割合などの概要を記載してください。	P75
製品・商品・サービス等による 環境負荷低減	新規に開発した環境配慮型製品等について、その概要を記載してください。なお、後述の【補足情報】に、ライフサイクルにおける活動別の環境負荷量や各製品等の具体的内容を記載・図示することもできます。	P76

VII. その他の事項

(以下については、環境報告書等を参照することも可能です。ただし、環境報告を作成していない場合や当年度に新たな事象の発生や変更があった場合には、該当する事項を記載して下さい。)

記載事項	記載上の留意事項	備考
組織体制及びガバナンスの状況 (1)環境監査及び環境教育 (2)災害事故等への対応状況	「V. 組織体制及びガバナンスの状況」の記載していない、下記事項について、記載してください。 (1)環境監査及び環境教育について、その実施概要を記載してください。 (2)災害事故等への対応状況について、推定される災害の程度とその対応状況などを記載してください。	P64
ステークホルダーへの対応状況	各ステークホルダーからの要請・期待の内容とそれらへの対応状況(経営へのフィードバックなど)について、その概要を記載してください。	P70
社会的取組の状況	紛争鉱物、人権、労働等への対応について、記載されている箇所(参照URL)を記載してください。なお、HPでの開示がない場合には、その概要を簡潔に記載してください。	P118
後発事象	報告対象期間の終了後に発生した事象(後発事象)で、環境経営に重要な影響を及ぼす事象について、該当の有無、該当がある場合にはその概要について記載してください。	P121

【補足情報】

記載事項	記載上の留意事項	備考
環境負荷量の 時系列一覧 (必須)	利用者が経営における環境配慮の取組を理解するために、主要なパフォーマンス指標(KPI)及びKPIと関連する環境負荷量の直近3年分を記載してください。	P52

※KPIについては、原則として備考にKPIと明記してください。

※算定方法などの数値情報に関する補足情報は、備考に*(番号)を付し、関連付けて【数値情報に関する補足情報】に記載してください。

※環境負荷量の()内には、単位を記載してください。

記載事項	記載上の留意事項	備考
数値情報に関する補足情報 (必須)	上記に関わる算定方法(算定式、係数等)、報告セグメント別の環境負荷量、ライフサイクルにおける活動別環境負荷量などの補足情報を記載してください。	P57

記載事項	記載上の留意事項	備考
組織体制等 (必須)	組織体制等の全体像や他の組織体制との関係が分かる図を記載してください。	P64

記載事項	記載上の留意事項	備考
法令等により国に報告した環境負荷量 (任意)	法令により国に報告した環境負荷量のうち、重要な課題に関するもので特に記載が必要と判断される情報を記載してください。なお、算定基準(算定式、係数等)が「数値情報に関する補足情報」と相違する場合には、その内容を欄の下に注記してください。	P85

※温室効果ガス算定・報告・公表制度にて報告した温室効果ガス排出量については、基本的に記載してください。

記載事項	記載上の留意事項	備考
環境配慮製品の研究開発等 (任意)	新規に開発した環境配慮型製品等の概要、取引先との協働取組などを記載してください。	P78

記載事項	記載上の留意事項	備考
環境報告書等の有無(必須)	当該年度の環境報告書等の作成の有無について、該当する口を■にしてください。なお、環境報告書等にはCSR報告書など含まれます。	—
環境報告URL (必須)	貴社のホームページにある環境報告(CSR報告書等を含む)のURLを記載してください。なお、URLがない場合は、記載は不要です。	—
環境報告書の関連ページ一覧表(任意)	環境報告(要約版)の詳細情報として、各記載項目に関する環境報告書(CSR報告書等を含む)の該当ページを記載する場合には、環境報告書の関連するページ一覧表等を記載してください。	—